佐野(<u>http://cst-sano.com/</u>) *無断複製、転載、譲渡等を禁ず

東部看護 大問 1 (長文問題)対策 ver.1

- 1. 長文問題のポイント
- 1.1. 大原則

英文(本文)を読むのは、問題を解くためである。読書をするのではない。

何事においても、目的に合った方法というものを採る必要がある。英文問題を特にあたっては、 目的は「問題を正答すること(それにより合格に必要な点数をとること)」であり、その英文を読む ことで新しい知見を得たり、気分を晴らしたりすることではない。そして、そうであれば<u>手段</u>は自 ずと、「問題を解くために必要な部分を、(英文に限らず)あらゆる箇所から理解する」こととなる。 英文全てを読解・理解する必要などなく、また、(可能であれば)英文を読む必要さえない。

以上の点を理解し、<u>徹底する</u>ことが、短期間で長文問題の得点を上げる最も有効な方法である。以下、それを踏まえた説明が続くため、繰り返し読んで、意識に刷り込むこと。

1.2. 問題を解く手順

問題を解くためには、まず、<u>本文を読む前</u>に、「<u>本文から何を理解しなくてはならないのか</u>」を 把握する必要がある。なので、本文の前に、問いを一通り見ておく必要がある。

ただし、それだけではせっかく用意されている「<u>道具</u>」を使いきれていない。<u>以下の手順を踏ま</u>えた上で本文にあたると、正答できる確率が上がるだろう。

リード文を 読む

・リード文から本文にどのような内容が書かれているか 分かる場合がある。「リード文には嘘は書かれていな い。」

注を見る

・注を先に見ることで、本文が読みやすくなるとともに、 本文の内容が予想できる。「注の単語は必ず本文で使われている。」

問題を読む

- •本文から何を理解する必要があるのかを把握する
- ・問題に書かれていることは本文で語られているはずな ので、そこから本文の内容を理解する。

以上を経て、初めて本文に入る

1.3. 本文の読み方

以上のように、本文以外の道具を上手く使いながら、問題の答えを探すために本文にあたってい く。ポイントは

「英文を読む」のではなく、「英文から答えを探す」

といったものになるだろう。結局は、考え方や意識が重要なのである。

<u>一文一文訳す必要などなく</u>、また、<u>問題を解くのに必要のない箇所は、分かっても分からなくて</u>も大して関係ない。なので、分からない箇所が出てきても一々立ち止まらずに、どんどん進むこと。

なお、<u>短期間で英文が劇的に読めるようになる方法はない</u>。間違いなく、「英文を読むカ=イディオム知識+文法知識+経験(読解)量+様々な事象に対する知識」なのであり、数日で伸びるようなものではない。であれば、短期間で身につけられる、違う「能力」でとりあえずは乗り切るしかないだろう。これは当然の帰結であり、何ら恥ずべきところはない。むしろ、失敗すると分かり切っている方法を採る人間の方が、おかしいのである。

1.3.1. 英文の読み方

ただ、実際には、全く英文を読まずに英文問題を解けることは多くない。そのため、ある程度英文を読まざるを得ないわけだが、英文の読み方についてもポイントは一つしかない。

英文は頭から理解する

英語は、日本語と違う。当たり前だと思う人がほとんどだろうが、それならばなぜ、英文を読む際に、一々「綺麗な日本語訳」を作ろうとし、英文の後ろから訳したりするのだろうか。そういう人は、結局、英語は日本語と違う言語だということが根本で分かっていないのである。英語の文を理解するには、英語の文の論理構造に従って理解するのが、一番よいに決まっている。そして、それは当然、先頭から並んでいる単語を順に理解していくことなのである。

なお、英文を頭から理解する際には、「<u>一つの文の中の流れ</u>」と「<u>前後の文の流れ</u>」を意識して 読んでいくとよい。なぜか理解していない人が多いが、<u>日本語と同じように、英語にも(他のどん</u> な言語にも)、話の流れというものがあるのである。

9	杤	題
Z.	7/91	正只

- 2.1. 静岡県公立高校入試 24 年度
- ①リード文

「次の英文は、中学生の浩二(Koji)が、明(Akira)とのできごとを振り返って書いたものである。 この英文を読んで、…問いに答えなさい。」

- ①書いているのは浩二。よって、本文中の I は括弧("")の中を除き、浩二で確定
- ②同じく、he は明
- ③「振り返って」書いたのだから、本文は過去の出来事 等

②注

fishing:魚釣り rod(s):釣り竿 fish:fishの複数形 threw:throw(投げる)の過去形 浩二は明と魚釣りに行った

③問い

- (2) 次の質問に対して、英語で答えなさい。
 - ① How many roads did Koji have?
 - ② Why did Akira have to go home when it started to become dark?
 - ①明は何本か釣り竿を持っていた →何本持っていたのか
 - ②明は暗くなり始めた時には何らかの理由で帰らなければならなかった →それはなぜか
- (4) 浩二の言葉を聞いて明は悲しい表情をしたが、浩二は、そのときの自分はどのようであったと振り返っているか。浩二が振り返っていることを、日本語で書きなさい。
 - ①浩二が明に悲しく思わせるような発言をした
 - ②その時の心境なりを書いた文が本文中に存在する →それは何か

(5) 本文注の下線部のよ	うに浩二が考えたのは、	浩二が、自	分の本当の気持ち	らに気付いたから	で
ある。本文中の	を含む一	一文が、浩二	この本当の気持ちを	を表す文になるよ	う
に、	□ の中に補うものとし	て、次のア	~エの中から最も	適切なものを1	つ
選び、記号で答えなさ	V '₀				

- T I also had to go home
- ✓ I was good at fishing
- ウ I should say sorry to Akira
- ☐ I enjoyed fishing very much

下線部→	The big fish wasn't for Akira.	It was only	v for me.
1 VD1 H IA	THE SIGNAL WASH CIGHT HIMA.	10 11 40 0111	<u>, 101 1110</u> .

	-	
□を含む文→ I	just wanted to show that	

- ①釣った、あるいはこれから釣る魚は、明のためのものではなく自分のためのもの
- ②その魚により、浩二は明に何らかのことを見せたいと考えている
 - →何を見せようと思っているのか

なお、この問題は本文を読まずとも解ける。魚を釣ることで見せるものは、エの内容しかないからである。

このように、本文を読まずに解ける問題は、とりあえず答えを選んでしまってよい。

- (6) 次のア~オの中から、本文の内容と合うものを2つ選び、記号で答えなさい。
 - →選択肢の2つは、間違いなく本文中に書かれている内容
 - 7 Akira went fishing with Koji and said he was going to show Koji a big fish.
 - ✓ Akira got his first big fish with Koji's help, but he didn't say anything to Koji.
 - ウ Koji got many small fish, but he didn't want them and threw them in the river.
 - 工 Koji didn't talk with Akira for some time after saying he didn't want Akira's fish.

本文から分からなければならないことは、「選択肢の内容が書かれているか否か」のみだが、少し漠然としているように感じるかもしれない。そのような場合には、各選択肢のポイントを押さえ、それが本文に登場するか否か、登場した場合には同じ内容になっているかを判断すればよい。例を示すと以下のようになる。

7 Akira went fishing with Koji and said he was going to show Koji a big fish.

ポイント:「明が」浩二に大きな魚を見せるつもりだったかどうか

→これまでの問いの内容から、「浩二が」明に見せるつもりだったと判断できる →×

✓ Akira got his first big fish with Koji's help, but he didn't say anything to Koji.

ポイント:①明が最初の大きな魚を釣った時、浩二の助けを借りたかどうか

②(浩二の助けを借りた場合)その時、明が何か言ったかどうか

ウ Koji got many small fish, but he didn't want them and threw them in the river.

ポイント:①浩二は小さな魚をたくさん釣ったどうか

- ②(釣った場合)小さな魚は欲しくなかったかどうか
- ③(釣った場合)それを投げ捨てたかどうか
- →これまでの問いと選択肢アの内容から、浩二は大きな魚を釣り、それを明に見せたいと 考えていたと予想できる
- 工 Koji didn't talk with Akira for some time after saying he didn't want Akira's fish.

ポイント:明の魚は欲しくないと浩二が言った後、二人は話をしなかったかどうか

- →これまでの問いと選択肢から、明は大きな魚を釣ったが浩二は釣れなかったと予想できる
- ᡮ Koji and Akira decided to come to the river the next summer to get a big fish for Akira.

ポイント:次に来るのは来年の夏なのかどうか

以上のように、リード文、注、問いから、本文の内容をおおよそ理解できるのである。

4)本文

正答に不要な箇所は取り消し線を入れている。もう少し削っても正答はできるので、「本文から答えを探す」という感覚を理解しながら読んで欲しい。

Last summer, I went fishing at the river with my friend Akira. It was his first time to go fishing. I had two rods, and he used one of them. I was good at fishing, so I was going to teach him. I said to Akira, "I'll show you a big fish." We got no fish for the first 30 minutes, but I was glad to tell him many things about fishing.

Suddenly, Akira called to me, "Koji! It's a big one. What should I do?" I ran to Akira. After a few minutes, Akira got a beautiful big fish with my help. It was our first on that day. He shouted, "I got a big one! Thank you, Koji." Soon after that, Akira got another big fish. This time, he didn't need my help. He just showed me his second fish with a smile.

I got many fish, but they were all small. I thought, "I only want a big one," and threw all of them in the river. Then, I went a little far away from Akira and tried many times.

About three hours later, Akira came to me and said, "I've enjoyed fishing very much. Let's go home, Koji." I said, "No, Akira. I haven't got a big yet." Akira looked sad, but I didn't understand why Akira wanted to go home.

It started to become dark. Akira came to me again and said, "You are great because you got so many fish." I said, "No, Akira. I can eatch a bigger one than you." Akira said, "I know, Koji. But today is my sister's birthday. So, I have to go home now." I knew I should say sorry to Akira, but I couldn't. Then, Akira said, 'I'll give you my first fish. I couldn't get it without your help." I said, "No, Akira. That is yours. I don't want it." Akira and I didn't say anything for some time.

"I just wanted to catch a big for you," I said. But I knew it was not true. The big fish wasn't for Akira. It was only for me. I just wanted to show that _______. Then, Akira said, "Why don't we come here again next week?" I said, "Yes, Akira. That's a good idea. Next time, I'll get a big fish for you." Akira said, "I'm sure you can do it." I said, "Thank you, Akira. Let's go home together."

2.2. 静岡県公立高校入試 23 年度

①リード文

「次の英文は、中学3年生の由美子(Yumiko)が、クラスメートの佳代(Kayo)とのできごとについて書いたものである。この英文を読んで、…問いに答えなさい。」

- ①書いているのは由美子。よって、本文中の I は括弧("")の中を除き、由美子で確定②同じく、she は佳代
- ③「できごとについて」書いたのだから、本文は過去の出来事 等

②注

move:引っ越す,引っ越し England:イギリス partner:(テニスの)パートナー match:試合 won:winの過去形 tear(s):涙 stay:~のままでいる understood:understandの過去形

- ①由美子か佳代がイギリスに引っ越す (おそらく佳代)
- ②由美子と佳代はテニスのパートナー
- ③別れを悲しむ

③問い

- (2) 次の質問に対して、英語で答えなさい。
 - ① Did Yumiko think she was good at English?
 - ② What did Kayo do when she heard from her father that they were going to move to England?
 - ① →由美子は英語が得意であったかどうか(おそらく不得意)
 - ②引っ越すのは佳代、その話を父親から佳代は聞いた
 - →その時、佳代は何をしたのか
- (4) 由美子は、佳代の父親と会った次の日に、どのようなことをしたか。由美子がしたことを、 日本語で書きなさい。

由美子は佳代の父親と会った(おそらく佳代についての話を聞いた) その次の日に由美子は何かをした

- →何をしたのか(佳代のために何かをしたはず)
- (5) 本文の下線部で、自分たちにはできると佳代が述べているのは、どのようなことか。由美子が述べたことをふまえて、日本語で書きなさい。
 - 引っ越す相手と何かをできるという話なのだから、将来についての話なはず →何を誓ったのか
- (6) 次のア~オの中から、本文の内容と合うものを2つ選び、記号で答えなさい。
 - T In September, Yumiko was surprised to hear the <u>sad news about her mother</u>.
 - ・由美子は、自分の母親についての悲しいニュースを聞いたのかどうか →本文中に出てくる sad な news は、佳代の引っ越しなはず →×
 - 1 Kayo gave the same words to Yumiko many times in the important tennis match.
 - ・佳代はテニスの試合で、由美子に何度も同じ言葉を言ったかどうか (→由美子と佳代はテニスのパートナーだということは分かっている)
 - ウ Kayo wondered why Yumiko didn't tell about Yumiko's move to England.
 - ・由美子のイギリスへの引越しの話を由美子がしないことを佳代が不思議に思っていたか →引越すのは佳代の方だと(2)から分かっている →×
 - I After talking with Kayo's father on the street, Yumiko knew how kayo was feeling.
 - ・佳代の父親と話をした後、由美子は佳代の気持ちに気付いたかどうか
 - →佳代の父親と会ったのは(4)で分かっている 佳代の気持ちに気付いたから、その次の日に何かをした(4)はず →○
 - ₹ Yumiko went to Kayo with flowers to say goodbye to her during the party.
 - ・パーティの間に、由美子は佳代に別れの挨拶をしに行ったのかどうか

注と問いから本文の内容が大分理解できる作りとなっている。そういった「道具」を上手く使うよう心がけてほしい。

4)本文

It was September. When I came home, I was very surprised. My mother said, "I heard sad news today. Kayo is going to move to England with her family next month." At the time I couldn't believe that. Kayo was my best friend. Also, she was my best tennis partner. She played tennis better than I. I can't forget her words in an important tennis match. She came to me many times and said, "Don't give up! We can do it!" At last, we won the match. Playing tennis together at Fujisan High School became our dream. We often studied together after school. I wasn't good at English, so Kayo taught it to me.

The next day in the classroom, I asked her about her move to England. She answered, "Well, your mother is right. I'm sorry, Yumiko."

I said in tears, "Why didn't you tell me? I thought I could go to Fujisan High School with you. I'm so sad." Kayo only answered, "I'm sorry." Then she became quiet. From that day, Kayo and I stayed away from each other.

One day, when I was walking on the street, I met Kayo's father. He said to me, "Kayo always talks about you at home. She likes you very much." He told me two more things. When he told her about their move, she went to her room and cried. Also, she really wanted to play tennis with me at Fujisan High School. Then, I understood Kayo was sad like me. I started to think about doing something for her.

The next day, I asked our teacher to have a party to say goodbye to Kayo. A week later, we had it in the classroom. At the end of the party, Kayo walked to the front and said, "Thank you very much for everything. I had a wonderful time in this class. I'll never forget all of you." She smiled when she finished her speech, but she looked very sad.

After the party, I went to Kayo with flowers and said, "I was always happy to be with you, Kayo.— I will go to Fujisan High School. There, I'll practice tennis and study English hard. After high school, I will go to England and study English more.— I'll never give up.—Will you play tennis with me then?"

Kaye smiled and answered, "Sure, Yumiko! We can do it! You are my best tennispartner. You are the person who understands me the most, and my best friend forever."

2.3. 東部看護 H21(一般)

①リード文

「次の英文を読んで、下の $1\sim5$ までの英語にそれぞれ続くものとして、最も適切なものを、 $a\sim d$ の中から選び、その記号で答えなさい。」

- ・ヒントなし
- ②注 →なし

③問い

- 1. The majority of Americans have
- a. between seven and twenty-one days for their vacations.
- b. over a month for their vacations.
- c. as much vacation time as they want.
- d. few days for their vacations.
- ・アメリカ人の大半は、休みをどれくらいとるのか(少数派(=some など)は関係ない)
 - \rightarrow 「7日(1週間) \sim 21日(3週間)」「1か月以上」「望むだけ」「数日」かの<u>どれか</u> (常識的に考えると、d はない。また、c もさすがにないだろう。)
- 2. Most Americans take their vacations
 - a. in Canada or Mexico.
 - b. somewhere in the US.
 - c. in European countries.
 - d. in Hawaii.
- ・アメリカ人の大半は、休みをどこで過ごすのか
 - →「カナダやメキシコ」「アメリカ内」「ヨーロッパ」「ハワイ」のどれか
- 3. In winter, a popular vacation spot for residents of northern states is
 - a. the Grand Canyon.
 - b. Hawaii.
 - c. northern California.
 - d. Europe.
- ・北部の州の人たちは、冬はどこで休みを過ごすのか(どこが人気があるのか)
 - →アメリカの北部ともなれば、冬は寒いだろう。つまり<u>避寒地</u>の話である → \mathbf{b} の可能性が高い
- 4. Colorado is famous for
- a. its natural wonders.
- b. its beaches.
- c. its city entertainments.
- d. its winter sports.
- ・コロラド州は、何で有名なのか
 - →「自然の景観」「ビーチ」「エンターテイメント」「ウィンタースポーツ」のどれか
- 5. One city that Americans like to visit is

- a. Yellowstone.
- b. Utah.
- c. San Francisco.
- d. Arizona.
- ・アメリカ人が訪れたいと思っている都市はどこなのか
 - →都市はcしかないと考えていいだろう $\rightarrow c$

問い全体を通じて、<u>本文は「アメリカ人の休暇、休暇で過ごす場所」についての話</u>だと分かる。 なお、このような内容一致式の問題が長文問題では一番解きやすい。分からなくてはならないこ とが明白な上、選択肢の一つは必ず正解だからである。

あとは、本文中から答えを探せばよい。(問5はヒントとなる単語を囲った)

4)本文

Most Americans get between one and three weeks of vacation time per year. —Some people make trips to the wilderness of Canada or the beaches of sunny Mexico; some may even travel to Europe or the Orient. The majority of Americans, however, spend their vacations in the USA.

There are a lot of wonderful vacation spots in the US which can satisfy almost anyone's special interests and holiday needs.— Some Americans from northern states, for example, take their vacations in January, February, or March to escape the brutal winters. They may spend a week or two in southern Florida, Hawaii, or southern California. A lot of Americans, however, enjoy winter sports, and many travel to the ski resorts of Colorado and Utah. Some like spending their vacations seeing the natural wonder of the US — for example, the Grand Canyon in Arizona, or Yellowstone National park in Wyoming. Other vacationers prefer the sights and entertainments of big cities like New York City, San Francisco, or Chicago.

2.4. 東部看護 H23(推薦)

①リード文

「以下のクローンに関連する英文を読んで、下の $1\sim5$ までの各表現に続くものとして最も適切なものを、 $a\sim d$ の中から選び、その記号で答えなさい。」

- クローンに関する話だと分かる
 - →普通はクローンに関する問題点について語るはず

②注

offspring:子孫 biotech firm:バイオテクノロジーを利用する工場 embryo:胚、胎児 surrogate mother:代理母 slaughter:屠殺する Food Standards Agency:食品基準局 artificial insemination:人工授精 Food and Drug Administration:食品医薬品局(アメリカ) indistinguishable:見分けがつかない livestock:家畜 clone-derived:クローン化に由来する delivery:出産 infectious pathogens:感染性病原体 logical:論理的な

・工場、胚、屠殺、食品基準局、食品医薬品局などから、<u>クローンを利用した畜産の話</u>だと分かる。また、その<u>クローンが通常の家畜と(何らかの点で)見分けがつかない</u>と書かれていると推測できる。さらに、<u>クローンは感染性病原体を(通常の家畜よりも多く)有している</u>ことが指摘されていることも推測できる。

③問い

- 1. Technological advances of agriculture are
- a. slowing down.
- b. the same as before.
- c. very slow.
- d. at the <u>high speed</u> for people to <u>fear</u>.
 - ・畜産(農業)の技術的進歩のスピードは、どうなっているのか
 - →「スローダウンしている」「以前と同じ」「とても遅い」「人々が恐れるほど速い」のどれか
- 2. British agricultural products
 - a. are only natural and organically grown foods.
 - b. are influenced much by technological advances.
 - c. are <u>criticized</u> by the people for <u>illegal technology</u>.
 - d. face hardship by importing foods produced through biotechnology.
 - イギリスの畜産品の状況はどうなのか
 - →「自然的に育ったもののみ」「技術進歩に大きく影響を受けている」「違法な技術のために 非難を受けている」「バイオテクノロジーを使った食品の輸入によって危機に直面している」 のいずれか
 - →本文はクローンの問題点について語っていると予想でき、また、先進国のイギリスの話であるから、クローンと全く無関係とは考えられない →a は×
- 3. Food Standard Agency (FSA)
 - a. thinks that cloning is illegal.
 - b. intends to ban the buying and selling of frozen embryos.
 - c. considers cloned animals to be harmful for people's health on the basis of science.
 - d. don't know how many cloned animals are mixed with natural livestock.
- ・FSAは、「クローンを違法だと思っている」「胚の売買を禁止している」「(基礎科学に基づき、) クローンの動物は有害であると考えている」「どれくいの数のクローンの動物が、そうでない家畜 と交配されているのか知らない」のいずれか
 - → 一機関が「違法だと思っている」というのは若干おかしいので、a は×
- 4. Food and Drug Administration (FDA) found that
- a. <u>cloned animals</u> brought <u>health risks</u> to people.
- b. <u>meat and milk</u> from <u>both cloned cow and their offspring</u> were <u>the same</u> as those of <u>natural livestock</u>.
- c. <u>meat and milk</u> from <u>the offspring of cloned cow</u> became <u>different</u> from those of <u>natural</u> livestock.
 - d. <u>cloned animals created</u> a great <u>fear</u> of clone-derived foods <u>among people</u>.
 - ・FDA は何に気付いたのか

→「クローンの動物は健康的なリスクをもたらす」「クローンの牛とその子孫の肉や乳は、自然的な家畜と変わりない」「クローンの牛の子孫の肉や乳は、自然的な家畜と違いがある」「クローンの動物は人々に恐れをもたらす」のいずれか

 $(\rightarrow b, c$ は結論は違うが、同じテーマについて述べている。このように、同じテーマについて述べられている選択肢が複数ある場合、その中に正答がある可能性が高い)

5. It is natural

- a. that cloned animals have more infectious pathogens than natural livestock.
- b. for FSA to be careful in conducting a five-year study.
- c. for people to desire to increase the production of farm animals even by cloning.
- d. for us to think of reasons to ban cloning.
 - あることは当然、自然である
 - →「クローンの動物がそうでない動物よりも多くの感染性病原体を持っていること」「FSA が 5年間の研究において注意深くあること」「人々がクローニングを使ってさえ、動物の製品の 増加を望むこと」「我々がクローニングを禁止する理由について考えること」
 - (→人物や機関が複数登場する場合、誰が行ったのかに注意すること(b))

"When we think of rural Britain, it is a picture of sweet meadows and cows moving slowly." But the truth is that "far from being a natural or healthy process, British agriculture includes technological advances at a fearful pace". Last week we learned that meat and milk from the offspring of cloned cows had been sold to British consumers. Back in 2002, a US biotech firm used the cells of a prize-winning cow to create a clone; at least eight of its embryos were then frozen and shipped to Britain to be put into surrogate mothers. Two of these—grown into bulls—were bought by a farmer in northern Scotland, and have now become the fathers of 100 cattle; one was slaughtered and sold for meat before the Food Standards Agency (FSA) raised objections. It is illegal to sell the meat of animals from clones—yet the FSA has no idea how many of these are now in the British herd.

Some people panic at the thought of anything unnatural going into the food chain.

Cloning is not much different from artificial insemination. And there is no evidence at all that cloned animals pose any kind of health risk. The US Food and Drug Administration conducted a five-year study which found that meat and milk from cloned cows and their offspring was indistinguishable from the meat and milk of traditionally produced livestock. The FSA's decision to ban the sale of these products had nothing to do with science. It was based entirely on "public terror of clone-derived foods."

But the FSA might be right to be careful. Cloned animals are more liable to defects and disease: 42% of cattle clones die between delivery and 150 days of life, and the European Food Safety Authority has raised the prospect that they might carry more infectious pathogens. Besides, cloning is the "logical extension" of the drive to increase the productivity of farm animals. "We have every reason to be alarmed."